

■ いっぱいなでなで保育ボランティアの

先輩に甘え放題

☆声優さんへのお願い

〳〵一人称↓私、二人称↓きみ、ぼく

(子ども相手、子ども扱いするとき)

台本中の▼はハートマークです。

キャラクター

〳〵子供でも聞き取れるような少し

間延びした話し方をお願いします。

〳〵全体的におっとりした感じで、

お姉さんらしく

〳〵主人公が話しているだろう部分など、

〳〵ただ間を置くのではなく、

「うん……ん、そっか……うん……」
など

〳〵優しく話を聞いている反応を大切に

していただけるとありがたいです。

〳〵全体的に甘やかし、

おっとりの感じです。

〳〵台本はベースなので、

少し言いやすいように

アレンジしてもらって構いません。

〳〵おっとりした先輩なので

単語なども「全部」↓「ぜんぶ」など

〳〵単語の一部伸ばしたりなども自由に
していただけるとありがたいです。

☆行為について

〳反動でセックスなどは積極的に
お願いします。

〳喘ぎなどは比較的自由な感じで
大丈夫です。

〳喘ぎは「はぁ」の息とか
ちよつと長めに

〳ああああなどは気持ちよすぎて長めに
声出ちやう感じでお願ひします。

〳「あ」などもぶつ切りよりは
少し長めのイメージです。

位置指定のルール

一度つけた位置は以降の「」で同じです。

ただし、便宜のため、

台本ページが変わると

改めてつけています。

★はSEです。

〳スタッフ

企画・シナリオ：御厨みくり

声： 柚木つばめ

イラスト： しゅは

ロゴデザイン： ヲリ

音声編集： Tonerico

台本化・ディレクション：

CPP・中島駿平

■トラック0「保育サークルの紹介」

★扉の音

／＼正面遠くで話します

「こんにちはあ。もしかして、保育サークルの見学に来てくれたの？」

／＼正面近くに移動しながら話します

「わあ、嬉しい。私、会長の香月小花

(こうづき・こはな) と言います」

「部活を探しているの？」

男の子が見学に来てくれるのって

初めてだから、なんだか私まで

緊張しちゃう」

「うん……、うん、

そうだね、保育サークルと言われても、

ピンと来ないよね」

「保育サークルでは

七森学園に併設されている幼稚園で

一緒に遊ぶボランティアをしてるの」

「幼稚園は大体2時頃に終わって

しまうんだけど、お仕事をしている

お父さんお母さんのために、

夕方まで預かり保育をされていて」

「その時間の一部に保育ボランティアとして、

幼稚園の子どもたちと

一緒に遊んであげるんだよ」

〱右側近くに移動しながら話します

「活動内容は毎日違って、本を読んだり、外で遊んだり……」

〱右側近く、男性の方を向いて話します

「もちろん、ボランティアだから

毎日来る必要はないの。

好きな時に参加できるから、

良かったら気軽に参加してみてね」

「あとは、サークルと部活動の違いについて説明しなきゃ」

〱右側から左側近くに移動しながら話します

〱右から中央

「七森学園では、部活動は原則、

掛け持ち禁止になってるの。

でも、サークルは部活動じゃないから、

掛け持ちも大丈夫」

〱中央から左

「所属している子たちも、

部活に所属して来てくれる子が

多いかなあ。

部活のない日とか、

運動部のオフシーズンとか……」

〱左側近く、男性の方を向いて話します
「だからきみも、

気負わずに来てくれたら嬉しいな」

「…………え？ 保育サークルのみの参加？

私は実際そうだし、部活動かサークル、
どちらかに参加すれば大丈夫だけど……」

「まずはいろんなところを見学してみてね。

うちに来てくれたら嬉しいけど、

きみが大切な学園生活を

楽しく過ごしてくれるのが一番だから」

／＼正面近くに移動しながら話します

「…………そうなんだ、子どもが好きで

一緒に遊べるようになりたいんだね」

「子どもは素直だから、ちゃんと話を聞いて

しっかり向き合えば

心を開いてくれる子が多いけど、

やっぱり個人差があるの」

「人懐っこい子もいるし、

人見知りの激しい

恥ずかしがり屋さんもいるし……」

「そんなに、難しく考えなくてもいいんだよ。

そうだ、良かったら

今から幼稚園に見学に行ってみる？」

「七森学園がずっと女子校だったから、

お兄ちゃんが来てくれたら、

みんな喜ぶと思うから」

「それにしても……

やっぱり年頃の男の子って

女の子とは全然違うのね」

「幼稚園だけは共学だし

ボランティアにも行っていたから

わかるけど……

あとは男の子と関わるのって

久しぶりだから……」

／＼正面間近に移動しながら小声で話します

「声も低いし……

こんなふうに成長するんだねえ……」

「背も高いし、身体もがっしりして……」

／＼右耳元に移動しながら小声で話します

「わぁ……骨も太いんだね……」

「子どもたち、みんな元気だから、

この腕なら抱っこ抱っこって

せがまれても遊んであげられそう……」

／＼離れる・正面近くに移動しながら話します

「……あ。ごめんなさい。

見世物みたい……」

「まだ私も、

男性との接し方がよくわからなくて」

「……普通でいい？」

「そっか、確かにそうだね。

同じ人間だもん。

男の子も女の子も、年齢も関係ないよね」

「じゃあ……あんまり難しく考えずに
普通にさせてもらうね」

「もう帰る？ そっか、見学の途中だもんね」

「……だけど……」

／＼正面間近で話します

／＼甘える感じで

「ん……」

／＼右耳元で小声で話します

「離したく……ないなあ……」

「きみと……離れたく、なくなっちゃった」

「掛け持ちでもいいから……」

「時々でも、いいから……」

「よかったら、保育サークル……
考えてみてね？」

■トラック1「保育サークルへようこそ」

／＼正面近くで話します

「入会してくれてありがとうございます。」

改めまして、私が保育サークル会長の
香月小花（こうづきはな）です」

「よかったぁ……見学に来てくれた時から、
きみが来てくれるんじゃないかって、
ずっと待ってたんだよ」

「それにしても、まさか保育サークルに
男の子が来てくれるなんて。

共学になったばかりで
まだ男の子が少ないから、
うちに来てくれる子はいないかなって
思ってたの」

「……子どもが好きなんだ？
それならうちのサークルはぴったりだね」

「うん、せっかくだから楽しみたいよね。
幼稚園の子どもたちもきつと、
すごく喜んでくれると思うよ」

「それじゃあ、前も説明したけど、
保育サークルの活動について説明するね」

〳〵右側近くに移動しながら話します
「七森学園では幼稚園も併設しているの」

〳〵右側近くに移動しながら
「幼稚園は大体2時頃に終わって

しまうんだけど、お仕事をしている
お父さんお母さんのために、
夕方まで預かり保育をしていて」

「その時間の一部に保育ボランティアとして、
幼稚園の子どもたちと
一緒に遊んであげるんだよ」

〳〵右側近くから左側に移動しながら話
します

「活動内容は毎日違って、
本を読んだり、外で遊んだり……」

〳〵左側に移動しながら
「子どもたちと楽しく遊べたら、
あとは自由だよ」

〳〵左側近くで話します
「……他の会員？
今日は来ていないかなあ……」

〳〵正面近くに卵移動しながら話します
「私は保育サークルにしか
入っていないけれど、
他のみんなは掛け持ちが多いの」

／＼正面近くで話します

「部活が文化部で、

活動が週に1回しかないとか、

運動部だけど冬場のオフシーズンに週に

何回か来てくれるとか」

「保育サークルも会員自体は多いけど、

参加率は高くないの。

ボランティアだから強制力もないし……」

「私は毎日来ているけれど、

あとは日によるかな。

私一人の日も結構多いよ」

「だから、

きみも他に興味がある部活があつたら、

入ってみてね」

「毎日来なきやと気負わずに、

来れるときに来てくれるだけでも

嬉しいな。

遊びに行った日は

子どもたちもみんな喜んでくれるし、

子どもの笑顔は癒しだから」

「……え？ 毎日来る？

確かに私はそうしてるけど……」

「無理しなくていいんだよ。

きみのペースで来てもらえたら」

「……うん、子どもが好きで、

保育の仕事のことをもっと学びたいの？」

「私も、将来は保育士さんになりたいの。
同じだね」

★なでなでする音

／＼正面間近で小声で話します

「まだ入学したばかりなのに、
将来のことを考えてて、偉いね。
なでなで……▼」

／＼正面間近小声で話します

「じゃあ、無理はしないで遊びに来てね。
保育のことが知りたかったら、
私も少しなら
教えてあげることができるから」

「それじゃあ、説明するよりも、
実際に今日のボランティアに
行ってみようか」

「あ、幼稚園では私のこと、
「先生」って呼んでね？」

「こはなせんせいって……言ってみて？」

「……………」

もう、声が小さいよ。
恥ずかしがらないで？」

「うんうん、よくできましたあ。
きみも、幼稚園では先生って
呼ばれるんだからね？」

★SE 荷物を持つ。段ボールなど

／＼右側を向いてしゃがむ

「よいしょ……つと……」

／＼正面を向きながら立ち上がります

「あ……荷物は私が持つから大丈夫だよ。

（立ち上がる）

今日入ってくれたばかりの

新人さんに荷物を持たせるわけには……」

「もう、ここは私に任せて。ね？」

／＼正面間近に移動しながら話します

「……ひゃ、だめ、だめだよ。

そんなに、重くないから……」

「男の子だからなんて、関係ないよ。

私が先輩なんだから」

「だめ……だーめっ……」

「きゃっ………!」

★SE 転倒、転びなど、がらがらおもちゃが落ちる

／＼正面近くに移動しながら話します

「いゝごめんね……!」

私が意地を張ってしまったから……」

「痛くない？」

でも、ここ……赤くなってるよ」

／＼正面近くで話します

「本当は、痛いよね？」

我慢しないで、いいんだからね？」

★なでなでする音

／＼正面間近で小声で話します

「なでなで……なでなで……」

ごめんね、痛かったねえ……」

／＼小声で

「じゃあ……」

いたいいたいの……とんでけー……♪」

／＼普通に戻して

「どう？ 痛いの……飛んで行ったかな？」

／＼正面間近普通に

「まだ？ じゃあ……」

もうちょつとやってあげるね」

／＼一つずつ丁寧に、小声で可愛くお願いします

「いたいいたいの……とんでけー」

いたいいたいの……とんでけー」

いたいいたいの、とんでけー」

／＼普通に戻して

「どうしたの？ なんだか、

ほっぺが赤くなってるような……？」

／＼離れる・正面近くで移動しながら話します

「わっ……ごめんなさい。」

確かに距離が近いって、よく言われるの」

／＼正面近くで話します

「私、毎日幼稚園の子どもたちと

接してるから……

ついみんなのことを

子ども扱いしてしまつて」

／＼恥ずかしそうに

「ずっと女子校だったから、

笑われるだけだったけど、

そうだよね、男の子だもんね……」

「……嬉しかった？

ふふ、確かに、私もこんな大きな

男の子にいたいたいいたいのとんでけたの、

初めて」

／＼正面近くで話します

「痛いのがなくなった？ よかったあ」

／＼正面間近に移動しながら話します

「それじゃあ、今度こそ荷物は私が……。

あ、ひゃあん、だめだってばあ」

「もう、どうしても持ちたいの？

じゃあ、お願いしちやおうかな」

「ふふ、力持ちで優しいね。

男の子だねえ。ありがとう」

／＼左耳元に移動しながら小声で囁きます

「あのね、きみが来てくれて……」

「すごく、嬉しいよ」

「毎日来てくれるって言うのも

すごく心強いのだ。

いつも一人でやってたから、

きみが来てくれるなら……」

「私も、明日からの部活が

楽しみになっちゃう」

「これから……よろしくね」

■トラック2 先輩の保育レッスン♪

★SE 扉を閉める音

／／廊下にて

／／歩きながら

／／右側近くで話します

「ふふ、今日もお疲れ様でした」

「きみが来てくれるようになってから

何日か経ったけど……

みんな受け入れてくれてよかったね」

「先生、先生って……

取り合いみたいになってたもんね」

「サークル室で少し休憩しようか。

お茶もお菓子もあるよ」

「はい、その前にしっかりと、うがい手洗い。
忘れずにちゃんとしましょうね」

★SE 水道の音

／／フェードアウト

／／少し時間経過

／＼場面転換、教室

／＼やや右側近くで話します

「はい、お茶どうぞ」

★SE お茶を飲む音など

／＼正面近くに移動しながら話します

「毎日来てくれてすごく嬉しいけれど、
本当に疲れてない？」

「子どもってみんなすごく可愛いけど、
パワフルでちよつと疲れちゃうよね」

「ん……そっか。

楽しいって思ってくれてるなら、
すごく嬉しいな」

「大変だったら、無理しなくていいからね」

「あと、少しでも体調が悪かったりしたら
ちゃんと休んでね。

体調管理も大事だから」

「私はきみに会えるのすごく嬉しいから……
ボランティアの活動、
楽しんでくれてるなら嬉しいな」

「……相談？」

ええ、私でよければ聞かせて？」

／＼正面近くで話します

「……ん、うん、……」

まことくんのことね。

私も確かに気になってたの……」

「きみの気を引こうとして、悪戯したり、

わざと怒って拗ねてみたり……。

普段はそんなことないんだけど……」

「……ううん……、違うの。

嫌ってるんじゃないんだよ？

保育では『試し行動』と

呼ばれるものなの」

「新しく来た先生とか……

わざと悪戯して、

相手の態度を見ているのね」

「そうして、その人が

信用できるかどうか確かめるの」

「何年もやってるベテランの保育士さんでも

最初は手を焼いちゃう」

「……そうだよね。仕方ないことだとしても、

きみが辛いよね」

★なでなでする音

／＼正面間近で小声で話します

「……よしよし、悲しいね、

傷付いちゃったね」

／＼正面間近で小声で話します

「自信なくしちゃった？」

試し行動はその子のペースで
待ってあげるしかないんだけど……」

「大丈夫だよ、こんなふうになちゃんと悩んで、
きみは優しい先生だよ」

「試し行動で肝心なのは、
ちゃんと話を聞いてあげることなの」

「悪いことをして怒っちゃうのも、
自分がそうしたいわけじゃないから
よくないし、
怒らないのも、自分に関心が
ないんだって感じちゃうから」

／＼少し離れて正面近くで話します

「じゃあ……私がきみに対して
やってみようかな。いい？」

「きみは試し行動で、物に当たってしまったて、
私がそれに気付くね」

／＼子ども相手の感じで
「どうしたのー？ 先生、
びっくりしちゃった」

「ちゃんとしゃがんで、
目線を合わせてあげるのも大事だよ」

「怪我しなかった？ どこも痛くない？」

「きみに怪我が無くてよかった」

★そつと抱きしめる布音

ニ左側耳元に移動しながら小声で話します

「こんなふうだね、

まずは身体の心配をしてあげること」

「その子が大事なんだってこと、
伝えてあげること」

「それから、ちゃんと話を聞いてあげる」

／／←ここから子供に語り掛けるように

「どうして物に当たっちゃったの？」

「……んー……、自分でもわかんないか」

「……うん……」

わかんないけど、

「そうしたくなつちやつたんだね」

「うん……、そういうときであるよね」

「……ん……やってみて、楽しかった？」

そうじゃなかったね」

「もしかしたら、お手手いたいいたいって、
きみが怪我してたかもしれないもんね」

「うん、そうだね……もし近くに誰かいたら、その子が怪我してたかもしれないもんね」

「先生はきみのことも

みんなのことも大事だから、

怪我したら悲しいなあ」

／＼ここまで子供に語り掛けるように

★離れる布音

／＼正面近くへ移動しながら話します

「……と、こんなふうに、叱るんじゃないかってちゃんと話をしたら、どうかな」

「こんなふうに言われたら、

ちよっとお話聞いてくれそうだよね？」

「大人でも……こんなふうに言われたら、心に響くよね」

「保育って、そういう大事なことも教えてくれるんじゃないかなって思うんだあ」

「その子によって、それぞれだし、簡単にはいかないから難しいけど……」

「でも私は、こうしてあげたら自分も納得できるかなっていうの、見つけてるつもりなの」

「きみも……こんなふうに言ってもらえたら、理解できると思う？」

「そうだよね、心配してる気持ち、大事に思ってる気持ち、伝わってほしいよね」

「ふふ、きみの表情もすごく良くなったね。
よかった」

「ふふ、……うん、

明日、ちゃんと伝えてみる？」

うん。ちゃんと届くといいね」

「難しかったらまた私に相談してね。

一緒に考えていこうね」

／＼少し間を置きながら、ゆっくり

「……あのね？」

「私も……きみのこと、すごく大事だよ？」

「だからね、悩んでいたら

助けてあげたくなるし、

いつでも笑顔で居てほしいよ？」

「だから、辛かったら

いつでも私に甘えていいからね」

「うん……きみのありがたうを聞けたら、

私、いくらでも頑張れちゃうよ……」

「ちゃんと感謝できる子、偉い偉いです」

「ふふ……よしよし。私のほうこそ、

大変だけど、

いつも来てくれてありがとう」

「きみに会えると、私も元気になっちゃう」

★なでなでする布音

／＼正面間近に移動しながら小声で話します

「きみは、一人じゃないからね。

……なでなで……」

／＼フェードアウト

／＼日数経過・間

／＼右側近くで話します

／＼歩きながら

「ふふ、まことくん、

すっかりきみに懷いたみたいだね」

「この間まであんなに悪戯してたのが
嘘みたい」

「きみの言葉が、ちゃんと届いたんだねえ」

「よしよし……頑張ったね……▼」

「私はちよっとお話聞いてあげただけ。
がんばったのはきみ自身だよ」

「ふふ、立派な先生に近付いてるね」

「これからも、

よろしく願いますね、先生」

■トラック3 「失敗しちゃった」

「きみはすつごく頑張ってるよ」

★SE 扉が開く音

／＼正面遠くで話します

「もう、そんな顔してどうしたの？」

★SE 扉が閉まる音、歩く音

／＼正面近くに移動しながら話します

「大きな溜息ついて……」

「悲しいことがあったんだね」

「ん……うん……」

「そっか、……」

「今日はうまくできなかったんだ？」

「失敗しちゃったんだね」

「私もすぐフォローできなくてごめんね」

「向いてないなんて……そんなことないよ」

／＼正面近く小声で話します

「辛くなっちゃったねえ。どうしてほしい？」

「ぎゅーってする？」

「お膝にごろんってして、」

「なでなでしてほしいの？」

「いいよ。」

「……おいで？ ごろんってして？」

〳膝枕・マイクの位置を下げます

★SE ソファ―に寝転ぶような音

★なでなでする音

〳正面マイク上方から話します

「なでなで……なでなで……」

「苦しかったね……よしよし……」

「今は何も考えなくていいからね……」

「きみが悲しい顔してると、

私も悲しくなっちゃう」

「……急いで話さなくていいから、

話したくなったらでいいんだよ」

〳ちよつとの間、なでなで

●なでなで中

「……そっかあ。

みんなにいっぱい甘えてもらえて、

頼られるようになったのは嬉しいけど、

あれもこれも言われて、

余裕なくなっちゃったんだね」

「あれやろうよ、

これやって、こっちに来てゝって、

きみは一人しかいないのに、

大変だったね、困っちゃったね」

「うん……それで、『ちよつと待って』って、

強く言っちゃったんだ。

みんなびっくりした顔してたんだね」

「マイク上方から話します」

「……うん……」

でも、すぐ謝ったんだね、偉いね。

大丈夫、みんなわかってくれたと思うよ」

「ううん、きみが悪いんじゃないよ。

誰だって自分の思い通りに行かなくて
困っちゃうことってあるよね」

「私だってそういうこと、あるよ？」

「嘘じゃないよお。

私だって、余裕なくなっちゃったり、
辛くなったり反省することあるよ」

「子どもって無邪気で可愛いけど、

慣れれば慣れるほど、

甘えが出ちゃって

我儘を言ったりもしちゃうし」

「でもね、きみが失敗しちゃったって

思うのは、

きみがすごく頑張ってるからだよ」

「毎日頑張ってるから、失敗しちゃったの、

悲しかったね、苦しかったね」

「……うん、うん……」

「みーんな、毎日きみに会えるの

楽しみにしてくれてるよ」

「ね、嬉しいね。頑張ってくれてありがとう」

／＼マイク上方から話します

「私はきみがすごく頑張ってるの、
わかってるからね」

「頑張ってるから辛いんだよね、
後悔したり、反省したりするんだよね」

「いつも、ありがとう」

「なでなで、なでなでだよ」

／＼静かに髪をなでなで、間、呼吸

●なでなで中

「きみの髪って、柔らかいねえ。
ずーっと触っていたくなるよ……」

「少し落ち着いたかな……？」

「抱きしめてほしいの？」

「いいよ、こっちに来て」

★S E 体勢を変える布音

／＼ここからマイクをもとの高さに戻しま
す

★抱きしめる布音

／＼正面間近から右耳元に移動しながら
小声で話します

「ぎゅー……」

〳〵右耳元小声で話します

「私にはいつでも甘えていいんだよ。

誰だって、辛くなったり

悲しくなることはあるんだから」

「黙って抱きしめてほしい時だって、
あるよね」

★なでなでする音

「よしよし、なでなで……、

今日はちよつとだけ失敗しちゃったね」

「うんうん……うん、

私の前では、いっぱい甘えんぼさん、
していいからね……？」

★なでなでする音

「ひやつ、もう、よしよし、

よしよしだよお……」

「大丈夫、明日はうまく行くよ。

明日は私もちやんと助けるから」

「みんなきみのこと好きだよ。

みんな明日は笑顔で

『こんにちは』ってしてくれるから」

「よしよし。いっぱい私のこと、

ぎゅーっしていいからね？」

●ぎゅっしてしている間の右耳元呼吸音
10秒程度

／＼右耳元小声で話します

「温かい？ ほっとする？」

それならよかったあ……ぎゅー……」

「幼稚園のみんなの前では

頼れる先生だから……

私の前ではいーっぱい、

甘えんぼさんしていいからね……？」

「ふふ……なんだか、可愛い……▼」

「きみの頑張り、

ちゃーんと……私が……

見てるからね……？」

「……うん、うん……よしよし……」

「……ちょっと元気になりましたかー？」

「うん、表情、よくなったねえ。可愛い」

「明日から、また頑張れる？

辛くなったら、

また私に甘えていいからね」

「ふふ……もう……

甘えんぼさんなんだから……▼」

■トラック4「先輩のお膝の上で癒し耳かき」

★SE 扉の音

／＼正面遠くから間近へ移動しながら話します

「お疲れ様……って……きやつ……」

★抱きつく布音

／＼左耳元小声で話します

「もう……」

最近幼稚園から戻ってくると
いつもこうなんだから……▼」

★なでなでする布音

「うんうん……、

今日も、いっぱい頑張ったね、なでなで」

「なんだか大きな園児さんみたい……▼」

「いいの？」

じゃあ……二人きりの時は、
私がきみの先生になって、
甘えさせてあげるね」

「きみも、ちゃんと私のこと、
先生って呼ぶんだよ？」

／＼左耳元無声で囁きます
「ちゃんと……」

先生、ねんねして、なでなでしてって、
言って……?」

〳〳左耳元小声で話します

「ふふー、よくできました……▼」

じゃあ……先生のお膝においで？
なでなでしてあげるから……▼」

★ソファーに座るような音

〳〳ここから、マイクの位置を下げます

〳〳右耳元上方から話します

「先生のお膝、あったかい？

眠くなっちゃうかな？」

「幼稚園ではしつかり者なのに、

ここではこんなに

甘えんぼさんなんて……」

「みんなには、絶対内緒だね……▼」

●右耳元上方吐息の間

「きみの……お耳……」

★ふにふに耳を触る音

「ふふ……耳たぶ……やわらかあい……▼」

「くすぐったいの？ 可愛いなあ」

「今日も……いーっぱい頑張ったね……▼
お疲れ様でした……▼」

「今日も立派なお兄ちゃんだったよ……。
すごく良くなってきたね」

／＼右耳元上方から話します

「ん……」

★ふにふに耳を触る音

「ん——……」

「……あら……？ 甘えんぼさん、

あら、あらあ……」

「ちゃんと、お耳掃除、してますか——……？」

「お耳に……いーっぱい、

汚いの詰まってるよお……？」

「もう……逃げないで？

恥ずかしがらなくていいんだよ」

「先生が、きみのお耳、ごしごしってして、
綺麗にしてあげるね……▼」

★かちやかちや 近くにある棚から綿棒
？耳かきを取る？

／＼右耳から

「それじゃあ……失礼しまーす」

★ 耳掃除の音・右・ループ

／＼あといいい具合に入れてください……

●耳掃除の音の間、吐息ループ（右）

「ふふ、硬くならないで、リラックスしてて」

「大丈夫……痛くないようにするからね」

〳〵右耳元上方から話します

「……………、わぁ、すごい。」

こんなに詰まっていたら、私の声、
聞こえ辛かったんじゃない……………？」

「そんなことないの？」

でも……綺麗になったら、私の声、
もっと聞こえるようになるかな……………？」

★耳掃除の音・右・ループ

●耳掃除の音の間、吐息ループ（右）

「……………わぁ……………奥に……………」

大きいのがあったよ……………？」

「取ってあげるから……………動かないでね……………？」

★耳掃除の音・右・ループ

●耳掃除の音の間、吐息ループ（右）

「……………ん……………？幼稚園の子の

耳掃除はしたことあるけど……………」

「……………こんなに大きい子の耳掃除は、
初めてだよ……………？」

「でも……………」

「お耳も、お耳の穴も大きいから……………」

奥まで、ちやあんと、見えるねえ……………」

「……………ひゃ……………」

／＼右耳元上方から話します

「もう……動いちゃだめでしょ？

大きいのが、落ちちゃった」

「くすぐったかったの？

ビクってなっちゃった？」

「ふふ……わかったけどお……我慢して？」

「動いたら、危ないよ？

いたいいたい、しちゃうからあ……」

「動いても、声出しても、だーめ……▼

もうちよつと……我慢してね……」

★耳掃除の音・右・ループ

●耳掃除の音の間、吐息ループ（右）

「……はい……もうちよつとだからね……？」

★耳掃除少し

●耳掃除の音の間、吐息ループ（右）

「はい……こんなに大きいのが、取れたよ？」

「最後に……」

／＼右耳吹きかけ・長めに

「ふー……」

「……はい。きれいきれいになりましたあ」

「まだ、おしまいじゃないよ？」

こつち向いて？」

／＼右耳元上方から話します

「はい、次はこつちのお耳も
きれいきれいしようね」

「だーめ。右耳がこんなに汚れてるのに……
左耳だけ掃除してるってこと、ないでしょ？」

「大丈夫……優しく……」

すぐ綺麗にしてあげるから……▼」

★左耳になるように態勢変え

／＼左耳元上方から話します

「……ほーら、すつこく汚れてる……」

「こつちのお耳も……」

綺麗にするから、動かないでね……？」

★耳掃除・左ループ

●耳掃除の音の間、吐息ループ（左）

「こつちも……奥に、大きいのあるね……」

「動いちゃ、だーめ……▼

くすぐりたいの、わかるけど……

我慢、だよ……？」

★耳掃除・左ループ

●耳掃除の音の間、吐息ループ（左）

／＼軽く息吹きかけ

「ふっ……ふー——」

／＼左耳元上方から話します

「ふふっ、ビクってなったあ……▼

ごめんごめん」

「よし、これで見えるようになった……」

★耳掃除・左ループ

●耳掃除の音の間、吐息ループ（左）

「……ん、もうちょっと、だからね……」

「ほら……どんどん、

綺麗になってきたよ……」

★耳掃除・左ループ

●耳掃除の音の間、吐息ループ（左）

「……よし、取れた……。最後に……」

「ふ……………」

「よしよし、いーっぱい取れました▼

ほら、見て？

こんなに溜まってたんだよ……？」

／＼左耳元近付き・小声

「先生の声、

少し聞こえやすくなりましたか？」

／＼左耳元近付き・小声

「これからは、ちゃんと、

細めに自分でお掃除しなきゃ、
だめだよ？」

／＼左耳元上方から話します

「んー……うん、そうだねえ、

確かに、耳って自分では見えないから、
難しいよね」

「そうだね、無理にやりすぎると

中耳炎になったり、しちゃうもんねえ」

／＼左耳元近づき無声で囁きます

「じゃあ……また、先生が……してあげよっ
か……？」

／＼無声で

「時々……こうやって、

なでなでしながら……お

耳のお掃除、してほしい……？」

／＼左耳元上方から話します

「そっかあ……

もう、しょうがないなあ。

……特別、だからね？」

■トラック5 「ご褒美にお胸で癒してあげる♪」

／＼正面近くで話します

「今日もボランティアお疲れ様でした。

はい♪ おいで？

ぎゅーっとしてあげる」

★抱きしめる布音

／＼左耳元で小声で話します

「なでなで……今日も、頑張ったね……」

「うん……うん……。そっかあ……」

今日は授業で小テストもあつたんだね」

「へえ、すごおい、点数、良かったんだねえ」

「サークル活動もこんなに頑張ってるのに、お勉強もちゃーんとしてるんだね？」

★なでなでする布音

「偉いねえ……なでなで……▼」

「なあに？ 頑張ったご褒美が欲しいの？」

「じゃーあ……」

先生に、何してほしいか……教えて？」

★胸を触られる布音

／＼胸を触られる・びっくり

「……ひゃ……っ！」

／＼正面間近で小声話します

「こーら。だめ」

／＼正面間近で小声話します

「もう……頑張ったご褒美に、

先生のお胸、触らせてほしいの？」

「……だーめ。それは、できません」

「……どうしても、だーめ……」

「……もう……、

そんな可愛い目をして、だーめ。

悲しい顔しても、だーめ」

「……だって、それは……

えっちなことで……

えっちなことは、先輩と後輩の間では、

だめなんだよ……？」

「ちゃんと……恋人同士じゃ、ないと」

「……もちろん、ちゃんと恋人同士だったら、
いいけど……」

「……私は、ずっと……

待ってるんだけどなあ」

「今まで、頑張ってるきみを

甘えさせてあげるって言っただけど……」

「……特別な気持ちになかったら、
こんなこと、しないんだよ？」

「きみは……どうなの？」

右耳元に移動して無声で囁きます

「……ちゃんと……言って？」

「……うん……うん……」

私のこと、好きなんだあ……」

「もう……私なしじゃ

生きられないくらい……

私に、メロメロに

なっちゃったんだあ……▼」

「顔、真っ赤にしちゃって……可愛い」

「恥ずかしいのに、

頑張って告白してくれて、ありがとう」

「頑張ったね……、きみの気持ち、

すっごく嬉しいよ」

「……いいんだよ。

私もいーっぱい……

きみのこと甘やかしてあげる」

「これからも、ずーっと……。

ちゃんと頑張ってるきみを、

二人っきりの時は、

いっぱいなでなでして、

甘やかしてあげるね……▼」

「私も……頑張り屋さんで優しくて

まつすぐなきみのこと、……

だあいすき……▼」

／＼正面間近に移動しながら小声で話します

「じゃあ……

これからはサークルの
先輩後輩ではあるけど、
恋人同士……だね？」

／＼正面近くに移動しながら話します

「恋人同士だったら……

ご褒美……いいよ……？」

★ 脱ぎかめくり

「……はい、おっぱい、どうぞ……♪」

「……今までもずーつと……

触りたくて我慢してたの？」

「もう……言ってくれたらよかったのに」

／＼正面間近で小声で話します

／＼胸触り

「……んんっ……▼」

「私のお胸……大きいの？」

自分ではわからなかったけど、
そうなんだあ」

「大きいと……きみは喜んでくれる？」

「ふふ、きみが喜んでくれるなら、嬉しいな」

「……あ……ん、んんっ……」

／＼正面間近で小声で話します

「ん……？ 恋人同士だけど、

二人きりの時は、先生って呼びたいの？」

／＼正面間近で無声で囁きます

「もう……」

／＼左耳元で無声で囁き

「変態さんなんだから……」

／＼正面で間近で小声で話します

「特別だよ……？」

先生のおっぱい、

もつと、きみの手で

ぎゅっぎゅってして……？」

「あ……はあ……ん、んう……んんっ……」

「はあ……あ……なでなで……んっ……。
んんっ、ふ……あ……」

「お勉強も……あ、んんっ……

ボランティアの活動も……

なーんでもいっぱい

頑張ってるきみに……

はあ……ご褒美だよお」

「ご褒美……嬉しいですかー……？」

あ、あっ……はあ……▼」

「嬉しい……？ よかったあ」

／＼正面で間近で小声で話します

「はあ……こんなふうに、

おっぱい触られるなんて、初めて……▼

はあ、あ……んんっ……」

「あ、あっ……ん……

そんなに、こねまわして……

あっ……はあ……。

そんなに……触りたかったんだあ……」

「きみの目、すごく嬉しそうで……

子どもみたい。可愛い……」

「こんな可愛いきみを見せていいの……

私の前だけだよ……？」

／＼吐息多め

「……あ……あっ……んんっ……

はあ……、あ……あっ……、はあ……」

「おっぱい、そんなにふにふにして、

はあ……あ……▼

私も気持ちよくなってきちゃったあ……」

「んんっ……ふ……あ……あっ……

きみの手で……先生……

気持ちよくなってるんだよ……

ありがとう……▼」

「ん……？ もじもじして、どうしたの？」

「先生のお胸、

いーっぱいぺろぺろってしたいの？」

／＼正面で間近で小声で話します

「……赤ちゃんみたいに……」

ちゅばちゅばあってして、

いっぱいーっばい、

甘えたいんだあ……▼」

／＼正面で間近で小声で話します

／＼胸しゃぶり

「んっ……んんっ……はあ……▼」

「ちゅばちゅば必死に吸ってて、

可愛いね……▼」

「ふあ……は、ああ……んんっ……はあ……」

★なでなでする音

「……なでなで……舐めるの、

上手、上手だよ……」

んっ、ふ、あん……んんっ……▼」

「はあ……あっ……そんなに、

いーっばいちゅばちゅばしてえ……んっ、

先生のおっぱい……」

そんなに美味しいですかー……？」

「はあ……あっ……んふ、んんっ……」

あ、ああっ、そんなに、強く、

吸っちゃ……あっ……」

「はあ、あ……先生のおっぱい飲みたくて、

いっぱい、吸っちゃったねえ……」。

あ、っふ、はあ……いいんだよお、

先生も、だーいすきなきみに

いっぱいちゅうってしてほしいからあ」

／＼正面で間近で小声で話します

／＼段々感じてきたように

「ん、んんっ。あ、あっ……、

はあ、あっ、あ、ああっ▼」

● 喘ぎ・小

「はあ、あう、ん……先生……身体……

熱くなつてきちゃったあ……」

「そう……？」

えっちな先生もお……好き……？」

／＼無声で囁き

「先生も……」

甘えん坊さんな優しいきみが、
大好きだよ……▼」

／＼無声で囁き

「はあ……好き、大好き……あ、あっ……」

「先生のおっぱい、きみの唾液で、

べとべとになっちゃったあ……▼

はあ、あっ……んん、う……、

んはあ……あっ……あっ……▼」

「んんっ、う……はあ……あっ……▼

本当のおっぱい……出てほしい？」

「んんっ……出てほしいんだね……▼

赤ちゃんみたいに、ずーっと、

はあ、先生のおっぱい、

ごくごくって、飲んでたいんだあ……▼」

「んっ、はあ……いいんだよお……」

先生の前だけではあ……

きみがしたいこと、我慢しないで……

全部、言って……?」

／＼正面で間近で小声で話します

「先生も、したいこと言っているの……?」

「じゃーあー……だーいすきなきみに……」

いっぱい、いーっぱい愛してほしい……

▼

「先生だって、今までずーつと……」

我慢してたんだから……」

「今まで毎日、だーいすきなきみが

ずっと隣にいてくれて……」

ぎゅーってしたり、

なでなでしたりして……」

／＼囁き・いたずらに

「きみが……」

おちんちんおっきくしてたのも……

知ってるんだからね……?」

／＼囁き・いたずらに

「今も……」

制服の上からでもわかるくらい……

おっきくなっちゃってるでしょ……?」

／＼正面で間近で小声で話します

／＼囁き・いたずらに

「先生のおっぱい、

赤ちゃんみたいに舐め回しながら……

こーんなに……

興奮しておちんちん

おつきくしてるんだあ……」

「我慢……できなく

なってるんじゃないのかな……?」

「ん、は、あっ……▼

そんなに激しく舐めて……

それだけで、満足、できるの……?」

「はあ……我慢したら……だめだよ……?」

「んんっ、あ……あっ……▼

先生はあ……

ちゃんとしたいこと言える子が、

好きだなあ……▼

「あ、んんっ……▼

うん……そう……それでいいの……?」

「わかった、先生が……

きみにおっぱいぺろぺろされて、

気持ちよくなってイっちゃうところ、

見せてほしいんだね……?」

「おちんちん、こんなに我慢できないくらい

大きくなってるのに……

私を気持ちよくすること

考えてくれるなんて……」

／＼正面で間近で小声で話します

「やっぱり……」

きみはすつごく優しいね……▼」

「おっぱいぺろぺろしながら……」

いーっぱい触りながら……」

先生から、目を離しちゃだめだよ……?？」

「先生が気持ちよくなって、イっちゃう顔、
ちゃあんと、見ててね……?？」

● 喘ぎ・小

「は、ああっ、ん、う、んんっ……▼」

はあ、さっきまではやっぱり、
我慢、してたからあ……」

「あ、あ……」

おっぱいでイっちゃっていいんだって、
思ったらあ……」

はあ、あ、気持ちよすぎて……」

んんっ、あ、あっ……▼」

「ひゃ、あ、あっ……どうしよう……」

知らない私、きちやう……」

あっ、あっ……」

「えっちな私、引き出されちゃう……
っ、あ、あっ、ああっ▼」

● 喘ぎ・中

「はあ、あつ。ああつ……▼」

〳〵正面で間近で小声で話します

「気持ちよく……」

んんっ、なつて、きちやったあ……

あつ、ああつ……!!」

「見て、見て、あ、あつ、先生の、はあつ、
気持ちいいお顔、あ、あつ、見て、
見ててっ」

「あつ、んんんっ！ は、はあつ、あつ、
あつ、ああつ……!!」

「来ちやう……来ちやうう……
あつ、あつ、ああつ」

〳〵絶頂、少し音量抑えながら長めに
「あつ、ああつ、あつ……
あああつ、~~~~~~~~!!」

「……はあ……あ……
はあ……ああ、はあつ……」

「はあ……おっぱいで……
イツちやったあ……▼ はあ……あ……」

「おっぱいで気持ちよく
なっちゃった先生のこと見て……
興奮しちやったあ……?」

「うん……うん……▼ よかったあ……
自分も限界なくらい
大きくなちやってるのに……
頑張ってくれてありがとう……」

／＼正面で間近で小声で話します

「だあいすき……▼」

「じゃあ……」

今度はきみにしてあげないとね……▼」

■トラック6 「お耳を舐めながら

しこしこしてあげる……♪」

／＼正面で近くで小声で話します

「まずはあ……

窮屈なそこから、

出してあげないと……▼」

★制服のチャックを開けてペニスだし

「わっ……」

「わ、わああ……すごおい……わあ……」

「ごめんね、先生……

実際に見るのは初めてだから……」

「でも……すっごく大きくて……

すっごくかっこいいよ……▼」

／＼右耳耳元に移動してささやきます

「それで……（移動）こーんなに大きくなっ
ちやったおちんちん……どうしてほしい……
…?」

「先生の耳元で……

先生だけに聞こえるように、

ちゃーんと……言って……?」

／＼小声

「うん……、手で……

おちんちんしこしこしながら……

お耳を……ぺろぺろって……

してほしいの……？」

／＼正面で近くに移動して小声で話します

「もちろんいいよ……？　じゃあ……

ここに座って……こっちにきて……？」

★ソファーなどに座る音

／＼右側近くで小声で話します

「じゃあ……おちんちん……

失礼します……よいしょ……」

「しこしこ……これくらい……？

痛くないですかー……？」

「もうちよつと強く握ってもいいの……？

こう……？　こうかなあ……？」

「気持ちいいんだ……？」

……このまましこしこするね……？」

／＼右耳元へ移動しながら小声で話します

「そして……」

／＼右耳舐め

「ちゅっ……ちゅう……

じゅる、ちゅっ、ん、ちゅう……

ちゅ、ちゅばあ……」

「お耳舐められるの……いいんだ……▼」

●右耳舐めループ

「ちゅっ……ちゆる……ふ……はあ……
すごい、気持ちいいお顔に
なってきたね……▼」

／＼右耳元で小声で話します
「おちんちんも、先生の手の中で……
ビクビクしてるよ……？」

「ちゅ……じゆる……ちゅっ……
ちゅばあ……」

「うん……？ こつち……こう……？
指……ここに添えてほしいんだ……。
……こうかな？
こう……動かすの……？」

「こうすると……
もつと気持ちよくなっちゃうんだ……▼
いいよお……もつと、教えて……？」

● 右耳舐めループ

／＼右耳元で無声で囁きます
「ちゅ……はあ……可愛い……▼
だあいすき……」

／＼無声で
「先生の……
唾液でべとべとになっちゃった耳に……
囁かれると……
びくってしちゃうの……？」

／＼無声で

「たまらないんだあ……?」

〃右耳元小声で話します

「じゃあ……」

逆のお耳もぺろぺろしてあげるね」

★態勢を変える布音

〃左耳元に移動しながら話します

「こっちのお耳も……（移動）」

いっぱいぺろぺろしてあげるね……▼」

「ちゅっ……ちゅぱあ……」

ちゅっ、ちゅる……ちゅっ……」

● 左耳舐めループ

「ちゅっ……はあ……」

おちんちん……

どんどん大きくなってるね……▼」

「ちゅ、ちゅる……ふ……はあ……ふう……」

もう少し、早くしてほしいの……?」

「こうかな……?」

「気持ちいいの……?」

気持ちいいって、言って……?」

「出ちやいそうになった時も、

ちゃんと教えてね……?」

● 左耳舐めループ

「おちんちんしこしこつてしてる

先生の指……」

ちゃんと、感じてね……？」

／＼左耳元で話します

「はあ……ちゅっ、ちゅる……」

はあ、ちゅば……

ちゅっ、んんっ、ふ……ちゅっ……▼
「」

● 左耳舐めループ

「はあ……どんだん、

大きくなってるよ……？」

「もう……限界なの……？」

ちゅっ、はあ……ふうー……

先生の吐息で、

蕩けちやいそうなんだ……？」

「はあ……んんっ……いいよ、はあ……

先生に……おちんちんみるく、

びゅっびゅっつてするの……

見せて……？」

● 左耳舐めループ

「はあ……だして、だして……？」

先生に、見せて……？」

は、あ……あっ……

ちゅっ、ちゅばあ……」

「出ちゃうの……？」

いいよ……。元気に、ぴゅって……

先生の手に、いっぱい、いっぱい、

掛けてね……？」

● 左耳舐めループ・短め

／＼左耳元で話します

「あっ……▼」

「あ……ああ……▼ わあ……▼

いーっぱい……出たね……▼」

／＼左側近くで小声で話します

★くちゅくちゅする音

「ほら……見て……先生の手……

おちんちんみるくで、

べたべたになっちゃったあ……▼」

「拭き取っちゃうなんて、もったいないよ」

／＼精液ついた指舐め

「ちゅ、ちゅぱあ……いただきます……

ちゅっ……ちゅう……」

「すっごく……美味しいよ……▼」

「あむ……ん……ちゅっ……ふう……

ちゅっ、はあ……」

「はあ……美味しく……

いただきちゃったあ……」

「「ごちそうさま……でした……▼」

「ふふ、ありがとうって言えたねえ。ちゃんと感謝できる子、先生だーいすき……▼」

「先生のほうこそ、ありがとうだよ。
こーんなに美味しいミルク……

飲ませてもらっちゃったんだもん……▼」

■トラック7 「先生のなかに入りたい？」

／＼左側近くで小声で話します

「こんなにいっぱい出したのに……

見て……？」

「まだ、こんなに、大きいままだよ……？」

「どうするの……？」

もう……おしまいする……？」

「おちんちん、まだ……

元気いっぱいだね……？」

元気なのは、すつごくいいことだよ。

先生も……大好きだな」

「きみが、元気ですつごく可愛いから……」

★スカートめくり

正面近くに移動しながら小声で話します

「見て……？ 先生のここも……

おもしろしたみたい

になっちゃった……▼」

「ほら、ちゃんと、触ってみて？」

「……あ……熱いでしょ……？」

あ、あっ……

きみが可愛くて、

きみのおちんちん見てたら、

先生、こうなっちゃった……▼」

／＼正面近くで小声で話します

「あ……あつ、んん……」

っ、きみの指……感じすぎちゃう……」

「ね……直接……見て……？」

★パンツ脱ぎ

「ほら……見て……？」

えっちな匂いしてきちゃった……」

「あつ……▼

そう、そうだよ……

とろとろ、溢れて来ちゃう……▼」

「女の子のここ……見るの、初めてかな？」

／＼無声で囁き

「女の子の、ここは……」

大好きな人を、受け止めるために、
あるんだよ……？」

「どうしたいか……言って……？」

「うん……ん……」

先生の、ここに……入りたいの……？」

「先生のとろとろおまんこの中に入って……
一緒に……気持ちよくなりたいの……？」

「先生も……そうしたかったから……

嬉しいな……▼」

〓右側耳元に移動しながら囁きます
「じゃあ……▼」

〓対面座位、抱きしめ

★態勢を変える布音

〓右側耳元で無声で囁きます

「ふふ……」

〓正面間近に移動して話します

「そういえば私たち、

まだ……キスもしてなかったね」

「待って……？」

キスもいっぱいしたいけど……

もう、我慢できないから……」

「だから……おちんちんとおまんこ、

ぎゅっぎゅーって抱きしめ合ってから、

いーっぱい、キス……しようね？」

★ くちゅ音少し

「ん……んんっ……▼

はあ、あっ……はああっ……▼」

★挿入

「んっ、んんっ……！」

あ、う……ん、あ、んんっ……！」

★以降、適度に粘着音を背景に

「はああ……ああ……

入っちゃった……はあ……」

／＼正面間近で小声で話します

「はあ……気持ち、よすぎちやう……？」

あったかい……？

きみ、すつごく可愛い顔してるよ……？」

「はあ……私も……あつ、ああつ……

こんな……はあああ……、初めて……▼」

「はああ……お腹が、おちんちんで、

いっぱいになつて……

はあ、んつ……んんんつ……」

「はあ、先生、気持ちいいことしか、

考えられなくなつちやう……▼」

「ぎゅつて……ぎゅつて、しよ……？」

／＼左側耳元で無声で囁きます

「はあ……あ……好き……好き……、

大好きだよ……▼」

／＼正面間近で小声で話します

「ちゅ……しよ……？」

いっぱい、いーっぱい……▼」

「ちゅつ……んふ、はあ……

ちゅ、ちゅば……ちゅつ、ちゅる……

ちゅつ、あ、あつ……▼」

● ディープキス+喘ぎ

「あ、ああつ……キス、するたびに……

とろけちやう……▼」

／＼正面間近で小声で話します

「先生のおまんこ……」

どンドン気持ちよくなって、

きみのおちんちん、

ぎゅっぎゅっ抱きしめてる……▼

● ディープキス+喘ぎ

「ひゃんっ……はあ……」

気持ちよくて、動きたいの……？

いいよ……」

「先生のおまんこ、いっぱいいっぱい、

ぐちゅぐちゅにして……？」

★この個所粘着強めに

「あ、あっ、あっ……！」

おちんちん、擦れてる……っ

「気持ち、いい……、

あ、あっ、あ、ああっ▼」

「はあ、あ、もつと、あ、あっ、

いっぱい、かき回して……？」

● 喘ぎ・中

／＼右耳元に移動して小声で話します

「ひゃ、ああんっ、はあ、あっ……」

「も、だめ、こんなの、だめに、
なっちゃうっ……」

／＼右耳元で小声で話します

「止めないで、あ、あつ、ああつ▼

気持ち、いいの……！

ずっと、してたいっ……▼」

「は、はああ……

ん、はあ、んつ、あつ、ああつ……▼」

「きみの蕩けてる顔……可愛いよ……？

もつと、もつと、もーつと……」

／＼正面間近に移動して小声で話します

「先生で……はあ……

気持ちよく、なつて……」

「もつともつと、

先生から、離れられなくなつて……？」

● 喘ぎ・中

「ああああ、すごい、んんつ、

あ、あつ、あ、ああつ、

こんな、は、はあつ、あ、あつ、

初めて……」

「ね、はあ、あつ、先生の、おまんこ、

どう、ですかあ？」

「はあつ、うん、

ぎゅーつて、吸い付いてくる？

気持ち、いい？」

／＼正面間近で話します

「あ、あつ、それは、ね、
先生が、きみのこと、
だい、だい、大好き、
だから、だよ……？ はあ……あ……」

「あ、あつ、またあ、
先生の、臆内（なか）で、おちんちん、
おつきく、なったあ▼」

「なでなで……▼
先生の臆内（なか）で
こーんなに大きくしてくれて……
ありがとう……」

★粘着だんだん激しく
「ひや、あ、あつ……▼
はげし……っ、我慢、
できなくなっちゃったんだ……▼
あ、あつ▼」

「いいよお……
先生に、我慢しないでいいんだから、
もつと、もつと、してえ……？」

● 喘ぎ・中

「あ。あああああ、あつ、あああつ！」

／＼右耳元・必死で囁き・喘ぎながら
「好き、好き、好き、好き……！」

／＼右耳元・必死で囁き・喘ぎながら
「は、あああ、大好き、大好き、大好き、
あ、あつ▼」

／＼正面間近戻り

「はあ▼ あ、あつ▼
あ、だめ、あつ、ああつ▼
も、もうっ、あ、あつ、んんっ▼」

「はあ、あつ、こんな、こんなの、
初めて、あ、あつ」

「いつもは、可愛い、
甘えんぼさん、なのにつ▼
は、あ、ああつ、
今は、すっごく、かっこいいっ、
かっこいいよっ」

★粘着かなり激しく

／＼ここから絶頂に向けて喘ぎ強めで
「やつ、あ、ああつ▼
はげし、あ、あつ、ああんっ▼
も、もうっ、あ、あつ、
だめ、だめえっ▼」

「はあ、あ、ああつ、
んく、ん、んんっ、う、あ………！
あああああ、も、もうっ、あ、あつ、
伊っちゃ、う、あ、ああつ」

「ああああ、も、もうっ、あ、あつ、
だめ、あ、あつ、ああつ」

「イツちゃ、う、うつ、

あ、あなたの、あ、あつ、
おちんちん、で、あ、あつ、
イカされ、ちゃ、うつ」

／＼正面間近で話します

「はあつ、あ、あつ……

イキそ、なの……っ？ あ、あつ▼
一緒、いっしょ、にっ、
ああつ、はあ、あつ▼」

「先生の、臆内（なか）、

びゅっびゅっ、してっ、あつ、ああつ▼
おちんちんみるく、はあ、あつ、
いっばい、注いでっ……!」

「あ、ああつ、あああつ、

あつ、あああああつ!」

「先生の、おまんこ、はあつ、あ、
いっばいに、いっばいに、してえっ!」

／＼絶頂、長めに

「ひう、あ、あつ……!」

あああああつっつっくくくくくくくく
くく!!」

／＼射精

「は……はうう……

あ、はあ……あ……はああ……」

「いーっぱい、出てるね……▼
感じる……▼

先生……全部受け止めたよ……」

／＼見つめ合いで少し会話しながらいちや
いちやしてる感じ

「はあ……あ……ふふっ……ん、うん……

汗……かいちゃった……▼

うん、ん……」

「汗のにおいと……えっちな、匂いだね……。

ふふっ、そうだね……

部屋に、残っちゃうかな……？」

右耳元に移動しながら小声で話します

「はあ……あ……

ビクビク、止まっちゃったあ……。

ん……頑張ったね……

気持ちよかったよ……▼

「このままで居られるなら……

もーっと、繋がっていたいなあ……▼

「んふ……、ありがとう……▼

……こちらこそだよお……、

ふふ、大好き……」

「……ずっと一緒だよ……？」

これからは恋人同士としても

ずーっと……よろしくね」

■トラック8 「エピソード・これからもずっと先生と……」

／＼正面近くで話します

「お疲れ様、今日も時間通り来てくれたね」

／＼左耳元に移動しながら無声で囁きます

「先生に会いたくて、甘えたくて……」

「今日も、来てくれたのかな？」

／＼左耳元小声で

★抱きしめる布音

「ん、ふあ……も、もうう……だーめ……▼

ちゃんと、ボランティア終わって

帰ってきたら……」

／＼無声で囁き

「頑張ったご褒美に、いっぱいなでなでして、

仲良ししてあげるから……▼」

／＼小声で

「あ、あつ、も、もう、だーめ、

我慢、できないの……？」

／＼正面間近へ移動しながら話します

「じゃあ……」

「ちゅっ……ん、んむ、ちゅ、ちゅぱあ……

ちゅっ……▼」

「はい、ここまで……▼

続きは、戻ってきてからだよ？」

／＼正面間近で話します

「んっ、きゃあんっ、も、もうっ、もつと、我慢できなくなっちゃったの……？」

／＼右耳元無声で囁きます

「だーめ……▼

きみのおちんちんみるくで
先生のおまんこ ぱんぱんにして
行っちゃったら……」

／＼無声で囁き

「だからだって溢れて来ちゃって……
大変なことに、なっちゃうでしょ……？」

／＼小声で

「だからぁ……ちゃーんと、
帰ってきてから……ご褒美、だよ……？」

／＼正面近くへ移動しながら話します

「……ね？ いい子だから、頑張れるよね？」

「……頑張れるよね？ ねー？」

「……うん、いいお返事です♪」

「じゃあ……今日もボランティア、
頑張ろうね」

／＼小声で

「私の可愛い……
あ・ま・え・ん・ぼ……さん……♪」

／＼小声で

「……だーいすき……▼」

■BGV

BGV

テキストは目安で自由にやっていただいで大丈夫です。

少し長めに収録お願いします。

／／なでなで中

「(テキストなし・自然に呼吸お願いします)」

／／ぎゅってしている間中の右耳元呼吸音

「(テキストなし・自然に呼吸お願いします)」

／／右耳元上方吐息の間

「(テキストなし・自然に呼吸お願いします)」

／／耳かき中・右耳・呼吸

「(テキストなし・自然に呼吸お願いします)」

／／耳かき中・左耳・呼吸

「(テキストなし・自然に呼吸お願いします)」

／／耳舐め・右

「ちゅっ……ちゅる、ちゅ、ちゅぱあ……ふ
う、ちゅっ、んんっ、ちゅ、じゅる、ちゅ、
はあ、ちゅっ、んふ、ちゅ、ちゅぱあ……」

／＼耳舐め・左

「ちゅっ……じゅる、んむ、ちゅる、ちゅ、
ちゅばあ……ちゅ、じゅる、じゅる……
ふはあ……ちゅば、ちゅっ、ん、ふ、ちゅ、
ちゅう……」

／＼ディープキス・喘ぎ・正面

／＼繋がりながらのキスなので、感じながら
お願いします。

「ちゅっ、ちゅ……ふあ……あ……ちゅっ、
ちゅばあ……ん、ああ、あっ、あっ……ちゅっ、
んう、ちゅるっ、う、あ、ああっ、
はあっ、んんっ、ちゅっ、ちゅるう、ちゅ
っ……」

／＼喘ぎ・小（正面）

「あ、はあ……あっ、あ、あっ……んんっ……
ふ……はあ……あ、あっ……ん、んんっ
……ふ、あ、ああ、あ、あっ……▼」

／＼喘ぎ・中（正面と右耳よりなど別である
といいかもです）

「あ、ああああっ、あ、はあっ、んっ、う、
んんっ……▼ はあっ、あ、あっ……んん
っ、う、ふ、ふあ……ああっ、あっ、んん
っ、はあっ、あっ、あっ……▼」

／＼喘ぎ・強・絶頂前の激しい感じ

「あっ、ああっ、あ、あっ、う、あ、はあっ、
ああっ、はああっ、う、うあ、あっ、ああ
っ！ はあっ、あああっ、んんっ、あっ、
んふ、ふあ、あっ、あっ、ああっ！」